

## 証明書返信用封筒について

### 返信用封筒のサイズについて

証明書の種類	封筒のサイズ
卒業証明書 証明書を発行できない旨の証明書	長3（定形）以上の大きさのもの
上記以外※	角3（定形外）以上の大きさのもの

※ 封緘したものをさらに返信用封筒に入れますので、原則として定形外封筒が必要です。

### 各種証明書の重量について

（返信用封筒の切手料金（基本料金）の参考にしてください）

証明書の種類	発行形態	重量※ <sup>2</sup>
卒業証明書（日本文）	書類のみ	2g 程度/1 通
卒業証明書（英文）	書類のみ	4g 程度/1 通
成績証明書、単位修得証明書ほか	封緘※ <sup>1</sup>	9g 程度/1 通（封筒含む）
調査書	封緘※ <sup>1</sup>	12g 程度/1 通（封筒含む）
証明書を発行できない旨の証明書	書類のみ	4g 程度/1 通

※1 証明書1通ごとに封緘します（例：成績証明書を5通発行する場合は書類と封筒各5つずつ返送することとなります）。

※2 **重量は目安です。また、上記証明書の重量に返信用封筒、切手等の重量が加わりますのでご注意ください。**

☆ 速達・書留・特定記録等による返信を希望する場合には、郵便料金の基本料金に当該オプション料金を加えた切手を同封し、返信用封筒に赤字でオプションの内容（速達・書留等）を記入してください。